

柵は管理が命です

惣吉さんの田んぼの脇で。

寅次：惣やん、電柵張ったんけ。

惣吉：ほーだ。役場で半分補助してくれるっつうからよ。

寅次：だきっと、荒らされてんなや。

惣吉：どっかから入ってるみてーだわ。

寅次：こごらのシシめは強力なんでねえのけ。

惣吉：電柵もたいしたもんでねーな。農協じゃ、これでばっちりっつってたんだきっともな。

寅次：まったく、いじやけっちゃーわな*。

*いじやけっちゃーわな：腹が立つなあ



柵を張った・・・で終わりではありません

田畑を野生動物から守る手法として、柵の設置があります。電気柵以外にも、金網（ワイヤーメッシュ）を使った柵や、トタン板を使った柵などがあります。

お金をかけて、手間をかけて、やっと完成。でも、それだけでは安心できません。柵の効果を持続するためには、**日ごろの管理が重要**なのです。



電気柵（畦波板併用）



忍び返し付き金網柵（奥はトタン板併用）

発行：鳥獣新聞編集部（栃木県自然環境課内）

TEL028-623-3261 FAX028-623-3212

ご意見、ご要望などお待ちしております。

無断転写、複製、転送、公開、掲示、配布など大歓迎！



電気の流れない電気柵

電気柵は、電線に草が接触することにより漏電してしまうため、1 週間に 1 回程度は草刈をする必要があります。電気柵の設置を検討する際、かかるお金のことも重要ですが、**こまめな草刈ができるかどうか**についても、よく考えておく必要があります。

写真：元はサル用のネット型電気柵。こうなってしまうとは、逆にサルの隠れ家やエサ場として利用されるだけ。(P：宇大里山科セ・江成氏)



金網柵なら草刈は要らない？

では、電気を使わない金網柵なら、草刈は不要なのでしょうか？ 野生動物は用心深く、姿を隠せる藪を好みます。柵の横まで藪があると、容易に柵まで接近し、十分に時間をかけて柵の弱点（凹凸部の隙間や支柱のぐらつきなど）を探し出すことができます。そこで、**柵の周囲を刈り払うことにより、野生動物を接近しにくくし、柵の効果を高めることができるのです。**



写真：藪に囲まれた金網柵。イノシシはゆっくりと歩きながら、もぐり込める隙間を発見した。(P：宇大里山科セ・小寺氏)

柵は管理が命

柵の効果を発揮させるためには、草刈や補修などの管理が必要不可欠です。柵を張ったけれど効果がない、といったときには、十分な管理ができていないのか、改めて見直してみる必要があります。

参考テキスト 2 種類発行！

- シシナビとちぎ** (A4 版 8p)
イノシシ対策の入門編です。
発行・問い合わせ先：県庁自然環境課
(電話 028-623-3261)
- 野生鳥獣被害防止マニュアル
～イノシシ編～** (B5 版 82p)
被害防止から捕獲まで、対策の全てを網羅したテキストです。
発行・問い合わせ先：県庁農村振興課
(電話 028-623-2334)

